慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	小川原, 正道(Ogawara, Masamichi)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2021
Jtitle	慶應義塾大学大学院法学研究科論文集 (Proceedings of Keio University Graduate School of Law Studies in Law and Politics). No.61 (2021.) ,p.457- 457
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00069591-00000061-0457

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

この度、『大学院法学研究科論文集』第六十一号が刊行された。本号には、法律学および政治学に関する八本の論考が収録されている。具体的な研究テーマは多岐にわたるが、いずれも、意欲的かつ学術的意義の高い論考である。読者各位にご高覧いただき、忌憚のないご意見、ご批判を頂戴したい。

大学院生は、自身の研究に熱心に取り組むことはもちろんだが、その成果を活字化して発表していかなければ、他の研究者から貴重な見解やアドバイスを受け、自らの研究を発展させていくことが困難となる。本誌には大学院法学研究科修士課程および博士課程に属する学生に投稿資格があるため、学生諸君にはぜひ意欲的に研究を発表し、その一つの媒体として本誌を活用することを期待する次第である。なお、投稿規程が改訂され、次号より修士論文として執筆された優れた成果の応募がしやすくなった。こうした論考もお待ちしている。

本号の編集にあたっては、慶應義塾大学出版会の堀井健司氏のご尽力を頂戴した。厚く御礼申し上げたい。

令和三年五月

『大学院法学研究科論文集』担当編集委員　法学部教授　小川原　正道